

平成元年度 研究所だより

1. 口頭発表

- 1) Neutronic Calculations for Modification of UTR-KINKI from HEU to LEU Fuels
R. Miki, International Symposium on Research Reactor Safety, Operations and Modifications, (Oct. 1989, Chalk River, Canada)
- 2) 染色されたCR-39 飛跡検出器の特性
鶴田隆雄, 天野博之, 日本原子力学会, 年会 (平成元年4月, 吹田市)
- 3) CR-39 プラスチックの染色
鶴田隆雄, 第7回固体飛跡検出器研究会 (平成元年4月, 東京都)
- 4) トラック法による中性子ラジオグラフィーの原理
鶴田隆雄, 中性子ラジオグラフィー利用技術研究会 (平成2年3月, 大阪市)
- 5) 核実験フォールアウトによる国民の実効線量当量
森嶋彌重, 第4回生活環境放射線調査専門委員会, (財)原子力安全研究協会 (1989年2月, 東京)
- 6) 琵琶湖生態圏における放射性セシウムの動向 (2)
古賀妙子, 森嶋彌重, 丹羽健夫, 河合 廣, 久永小枝美, 伊藤哲夫, 三木良太, 近藤宗平, 日本放射線影響学会 (1989年8月, 北九州)
- 7) Time Series Analysis of Tritium Precipitation in Osaka, Japan
Hiroshige Morishima, Taeko Koga, Takeo Niwa, Hiroshi Kawai and Yasushi Nishiwaki, Int. Symp. on Environmental Contamination Following a Major Nuclear Accident, IAEA (1989年10月, Vienna, Austria)
- 8) Imaging Apparatus for Etched Track Neutron Radiographs
T. Niwa, H. Kawai, T. Koga, H. Morishima and T. Tsuruta, The Third World Conference on Neutron Radiography (May. 1989, Osaka)
- 9) Neutron Radiography Facility Using Low Power Reactor of Kinki University
H. Kawai, T. Niwa, H. Morishima, T. Koga and T. Tsuruta, The Third World Conference on Neutron Radiography (May. 1989, Osaka)
- 10) YAYOI Fast Neutron Radiography
K. Yoshii, T. Niwa, T. Tsuruta et al. , The Third World Conference on Neutron Radiography (May. 1989, Osaka)
- 11) An Advanced Neutron Imaging System Using Highly Sensitive Photon-Containing Camera
Y. Ikeda, T. Niwa et al. , The Third World Conference on Neutron Radiography (May. 1989, Osaka)
- 12) 近畿大学原子炉の中性子ラジオグラフィ設備とその特性
丹羽健夫, 古賀妙子, 森嶋彌重, 鶴田隆雄, 河合 廣, 第11回中性子ラジオグラフィ利用技術研究会 (平成2年3月, 大阪)
- 13) 熔融塩燃料からの中性子放出量とスペクトルの評価
大澤孝明, 井上政春, 工藤和彦, 日本原子力学会平成元年度秋の大会 (平成元年10月, 茨城県東海村)
- 14) 中性子および荷電粒子の光学ポテンシャル
大澤孝明, 1989年核データ研究会 (平成元年11月, 茨城県東海村)
- 15) 空間高次モードの計算法とその応用
仁科浩二郎, 橋本憲吾, 日本原子力学会第21回炉物理夏期セミナー (平成元年7月, 比叡山)

平成元年度 研究所だより

- 16) 制御棒落下法による近畿大学炉炉心間結合係数の決定
橋本憲吾, 三木良太, 伊藤哲夫, 日本原子力学会1989年秋の大会(平成元年10月, 東海)
- 17) Parameter β/ℓ for Decoupled Fast Critical Assemblies by Noise Coherence.
K. Hashimoto, K. Nishina, Y. Yamane and T. Sanda, 1989 American Nuclear Society Winter Meeting (Nov, 1989, San Francisco)

2. 論文発表

- 1) Neutronic Calculations for Modification of UTR-KINKI from HEU to LEU Fuels
R. Miki, T. Itoh, and K. Tsuchihashi, Ann. Rep. Kinki Univ. Atom Energy Research Inst., **26**, 21~25 (1989)
- 2) アルコールによる再結晶
小倉 勲, 中村勝一, 粟田 功, 峯松敏江, 滝川隆代, 近畿大学原子力研究所年報, **26**, 27~29 (1989)
- 3) Relationship among Iodine, Bromine and Chlorine Concentrations in Cow's Milk in Japan
S. Ohno, T. Itoh, H. Miroshima and Y. Honda, Radioisotopes, **38**, 6, 279~281 (1989年6月)
- 4) 広島原爆中性子により誘導された Eu-152 放射能; 1986線量測定システムにおける ^{32}P , ^{60}Co , ^{152}Eu 放射能との比較
星 正治, 静間 清, 森嶋彌重, 他6名, Health Physics, **57**, 5, 831~837 (1989年11月)
- 5) Anomaly of desorbed water from Molecular Sieve 3A
H. Kawai, H. Morishima, T. Koga and T. Niwa, 近畿大学原子力研究所年報, **26**, 15~19 (1989年12月)
- 6) Evaluation of Particle Emission Cross Sections and Energy Spectra for V-51
Takaaki Ohsawa and Toshikazu Shibata, Annual Reports of Kinki University Atomic Energy Research Institute, Vol.26, pp. 1-14 (Dec. 1989)
- 7) The Optical Potential for Neutrons and Charged Particles
Takaaki Ohsawa, Proceedings of the 1989 Seminar on Nuclear Data pp.115-136 (Feb. 1990)
- 8) 中性子ラジオグラフィトラック画像の印画装置
丹羽健夫, 河合 廣, 古賀妙子, 森嶋彌重, 鶴田隆雄, 日本原子力学会誌, **31**, 679 (1989)
- 9) 環境試料の迅速放射化分析に関する基礎的研究(第2報)
近藤嘉秀, 近畿大学環境科学研究所研究報告, **17**, 71 (1989)
- 10) 二検出器相関実験による大型高速炉体系の λ モード固有値間隔の決定
橋本憲吾, 仁科浩二郎, 日本原子力学会誌, **31** (9), 1050~1052 (1989)
- 11) Parameter β/ℓ for Decoupled Fast Critical Assemblies by Noise Coherence
K. Hashimoto, K. Nishina, Y. Yamane and T. Sanda, Trans. Am. Nucl. Soc., **60**, 635-637 (1989)

3. 報告書

- 1) スペクトル制御中性子場の開発に関する研究
三木良太, 伊藤哲夫, 金子義彦, 土橋敬一郎, 山根 剛, 原研施設共同利用研究成果報告書(昭和63年度)320~322 (1989年7月)
- 2) 近大炉の炉特性の測定と利用
中島敬行, 下 道国, 三木良太, 鶴田隆雄, 丹羽健夫, 近畿大学原子炉共同利用研究経過報告書(昭和63年度)7・8 (平成元年7月)
- 3) 原子炉の運転と制御棒効果の測定

- 中島 雅, 北村 晃, 鶴田隆雄, 丹羽健夫, 近畿大学原子炉共同利用研究経過報告書 (昭和63年度) 33・34 (平成元年7月)
- 4) 近大炉, 炉物理常数の統計制度の測定
宮崎慶次, 山田 澄, 鶴田隆雄, 丹羽健夫, 近畿大学原子炉共同利用研究経過報告書 (昭和63年度) 35~39 (平成元年7月)
- 5) 放射線管理
森嶋彌重, 古賀妙子, 久永小枝美, 三木良太, 河合 廣, 青木 隆, 曾根宏治, 岡田泰和, 近畿大学原子力研究所年報, 26, 47~67 (1989年12月)
- 6) 中性子, γ 線混在場における吸引線量の測定に関する研究
中村勝一, 武蔵工業大学原子炉等利用研究成果報告書 Vol.13 (1989, 7)
- 7) 核分裂中性子スペクトルの評価法に関する研究
大澤孝明, 平成元年度日本原子力研究所委託研究報告書 (平成2年2月)
- 8) 核分裂即発中性子数の測定
大澤孝明, 中込良広, 京都大学原子炉実験所共同利用研究報告・昭和63年度上・下半期, KURRI-TR-321, p.15 (平成元年7月)
- 9) U-232 の高速中性子領域における核データの評価
大澤孝明, 「21世紀のエネルギー源としてのトリウムに関する総合的研究」(平成元年度文部省科学研究費総合研究 (A) 研究成果報告書) pp.20-22 (平成2年3月)
- 10) 熔融塩燃料からの中性子放出量とスペクトルの時間的变化
大澤孝明, 「21世紀のエネルギー源としてのトリウムに関する総合的研究」(平成元年度文部省科学研究費総合研究 (A) 研究成果報告書) pp.40-44 (平成2年3月)

4. 著 書

- 1) 放射線の ABC
三木良太 (共著), 日本アイソトープ協会 (平成2年3月)
- 2) 放射線障害防止関係法令解説
鶴田隆雄, 松田 喬, 電子科学研究所 (平成元年6月)
- 3) 放射線取扱概説
鶴田隆雄, 桂山幸典他, 電子科学研究所 (平成元年6月)

管 理 室

1. 原子炉施設およびトレーサー・加速器施設利用状況（平成元年度）

a) 原子炉施設およびトレーサー・加速器施設使用登録申請者数

(1) 使用登録申請者数

i) 教 員	原子力研究所	13名
	理工学部	9名
	薬学部	6名
	農学部	11名
	食品科学研究所	1名
	理工学総合研究所	1名
	その他	1名
ii) 職 員		4名
iii) 研修生		2名
iv) 学 生		120名
v) 学外派遣に伴う放射線管理対象者		8名

(2) 登録申請者内訳

i) 教 員

原子炉施設利用者	20名
核燃料物質利用者	22名
非密封放射性同位元素利用者	36名
密封放射性同位元素利用者	15名
加速器利用者	9名

ii) 学 生

原子炉施設利用者	33名
核燃料物質利用者	28名
非密封放射性同位元素利用者	94名
密封放射性同位元素利用者	29名
加速器利用者	4名

b) 平成元年度原子炉施設およびトレーサー・加速器施設学内共同利用登録申請一覧

1.	原子力研究所	森嶋 彌重	環境における放射性核種の挙動と分布に関する研究
2.	原子力研究所	古賀 妙子	環境放射線量当量測定に関する研究
3.	原子力研究所	森嶋 彌重	原子炉一次冷却水系腐蝕の早期検知に関する研究
4.	原子力研究所	鶴田 隆雄	固体飛跡検出器による中性子線量測定
5.	原子力研究所	丹羽 健夫	単結晶 LTD の研究
6.	原子力研究所	三木 良太	近畿大炉標準中性子場の特性測定
7.	原子力研究所	近藤 嘉秀	加速器により製造された短寿命核種の測定と利用に関する研究
8.	原子力研究所	近藤 宗平	放射線影響研究のための原子炉速中性子の利用
9.	原子力研究所	近藤 宗平	各種放射線の生物影響及びその過程の解析の研究
10.	原子力研究所	柴田 俊一	結合炉の動特性に関する研究
11.	原子力研究所	柴田 俊一	高等学校教員のための原子炉実験研修
12.	理工学部原子炉工学科	本田 嘉秀	海水中における放射性核種と低質との相互作用に関する研究
13.	理工学部原子炉工学科	本田 嘉秀	種々な原子炉生物照射場における線量測定

14.	理工学部原子炉工学科	合田 四郎	海洋堆積物中の微量元素の放射化分析
15.	理工学部原子炉工学科	桂山 幸典	近大炉を用いた中性子ラジオグラフィーの基礎研究
16.	理工学部化学科	平木 敬三	微量元素及び希土類元素の分析化学的、地球化学的研究
17.	薬学部	久保 道德	情報伝達系に及ぼす生薬成分の影響
18.	薬学部	市田 成志	神経細胞のCa ²⁺ 動態と各種受容体との関係
19.	薬学部	桑島 博	アカネ科植物に含有するセコイリド配糖体の生合成研究
20.	薬学部	小田 泰博	チューリップ球根レクチンの動物細胞表面糖鎖との相互作用について
21.	農学部食品栄養学科	光永 俊郎	植物種子および微生物の生理活性タンパク質について
22.	農学部食品栄養学科	重岡 成	Euglena cDNA ライブラリー作製と酵素遺伝子のクローニング
23.	農学部農芸化学科	田中 裕美	白色腐朽担子菌類からのリグニン分解酵素遺伝子のクローニング
24.	農学部食品栄養学科	深溝 慶	リゾチームの蛋白質工学
25.	農学部農芸化学科	松田 一彦	ピレスロイドの作用機構に関する研究
26.	農学部水産学科	江口 充	海洋細菌の増殖速度と基質取込み活性の変化
27.	農学部農学科	豊田 秀吉	フザリウム酸無毒化遺伝子のDNA塩基配列の決定
28.	農学部農芸化学科	榎 章郎	褐色腐朽菌の細胞外-電子酸化系の分離
29.	食品科学研究所	吉田 元信	細胞接着機構の解明
30.	理工学部原子炉工学科	姜 文圭	原子炉工学科第4年次「原子力工学実験Ⅱ」
31.	理工学部原子炉工学科	合田 四郎	原子力工学実験Ⅰ〔放射化学実験〕原子炉工学科3年
32.	理工学部原子炉工学科	合田 四郎	原子力工学実験Ⅰ〔放射化学実験〕原子炉工学科3年
33.	原子力研究所	近藤 宗平	「放射化学実験」薬学部4年次
40.	薬学部	三宅 義雅	肝臓再生因子について

c) 平成元年度近畿大学原子炉等共同利用採択一覧

1.	名古屋大学工学部	中島 敬行	近大炉の炉特性の測定と利用	2日	2名
2.	京都大学原子炉実験所	辻本 忠	近大炉を用いた中性子ラジオグラフィーの基礎研究V	7日	10名
3.	京都大学原子炉実験所	小林 捷平	近大炉標準中性子場の設定とその利用	8日	4名
4.	摂南大学工学部	山田 澄	適応フィルターによる臨界安全監視システム開発の基礎研究	4日	4名
5.	早稲田大学理工学研究所	黒澤 龍平	中性子被曝評価のための複合検出器の研究	7日	4名
6.	神戸商船大学商船学部	中島 雅	原子炉の制御棒効果の測定	3日	3名
7.	大阪大学工学部	宮崎 慶次	近大炉・炉物理定数の統計精度の測定	5日	5名
8.	科学技術庁放射線医学総合研究所	大野 茂	必須元素の食物連鎖とその臨床医学的研究	8日	3名
9.	広島大学工学部	葉佐井博巳	広島原爆中性子線量再評価のための残留放射能測定	3日	4名
10.	大阪市立大学医学部	寺本 敬子	ラット主要臓器中のマンガンの放射化分析	6日	3名
11.	北陸大学薬学部	山田 芳宗	⁶ Li(n, α) ³ H反応を利用するリチウムの定量	4日	6名
12.	京都大学医学部	武部 啓	分裂中性子に高感受性反応を示す動物系の検索	6日	8名
13.	慶応大学医学部	橋本 省三	低出力原子炉(UTR-KINKI)放射線の生物学的影響に関する研究	7日	3名

平成元年度 研究所だより

14. 鳴門教育大学 米澤 義彦 近大炉における植物の突然変異の研究 6日 6名

d) 原子炉施設等見学

平成元年 4月 7日	ハワイ大学	1名
12日	理工学部原子炉工学科新入生	76名
22日	東大阪消防署	15名
5月 17日	ゲッチンゲン大学	1名
20日	名古屋大学	4名
6月 2日	日本タングステン㈱	1名
19日	近畿大学アルバム委員会	2名
7月 7日	セルカ㈱	3名
8日	近畿大学入試説明会	51名
20日	清恵会第二医療専門学院	35名
21日	東洋製缶グループ総合研究所	1名
8月 1日	IPEN	1名
23日	布施警察署	8名
30日	小学館	1名
9月 11日	中国能源研究所	4名
11日	大連理工大学	5名
26日	SCI	5名
10月 3日	和歌山高校	61名
14日	第1回キャンパス見学会	45名
16日	富山南高校	2名
19日	動燃事業団	2名
28日	韓国能率協会	20名
28日	第2回キャンパス見学会及び学内公開	115名
31日	東洋製缶	1名
11月 2日	大阪医療技術学園専門学校	2名
11日	第3回キャンパス見学会	41名
11日	日本科学技術振興財団	8名
16日	水産研究所	57名
29日	水産研究所	55名
12月 8日	全国進学研究会	2名
平成2年 1月 9日	中華人民共和国大連	2名
	国内 22件	延 585名
	国外 9件	延 42名

e) 原子炉施設、トレーサー・加速器施設立入者延数

(見学者および共同利用者は除く)

施設名	年 月										2年			計
	元年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
原子炉施設	102	98	156	118	105	137	143	143	126	101	60	70	1359	
トレーサー・加速器施設	52	110	151	169	49	128	178	126	148	146	68	51	1376	

f) 原子炉施設利用状況

i) 原子炉利用日数

共同利用 76日

学内利用 74日

150日

ii) 平成元年度共同利用状況

共同利用日数 76日, 延172人・日

原子炉運転時間 330.14時間

原子炉熱出力量 248.95ワット・時

iii) 平成元年度月別原子炉利用状況

年 月	利 用 目 的	運 転 時 間 (hr)	出 力 量 (Whr)	利 用 日 数
元年 4 月	特 性 測 定	2.87	1.32	2
	高 校 教 員 研 修 会	4.78	1.22	2
	小 計	7.65	2.54	4
5 月	照 射 利 用	7.78	6.72	2
	特 性 測 定	17.16	13.00	6
	学 生 実 験	15.28	8.81	6
	小 計	40.22	28.53	14
6 月	照 射 利 用	14.46	13.37	2
	特 性 測 定	64.43	40.22	14
	学 生 実 験	16.76	8.28	5
	小 計	95.65	61.87	21
7 月	照 射 利 用	10.52	8.73	2
	特 性 測 定	23.93	11.30	9
	学 生 実 験	3.58	1.80	1
	定 期 自 主 検 査	2.32	0.73	1
	小 計	40.35	22.56	13
8 月	特 性 測 定	15.03	14.42	2
	高 校 教 員 研 修 会	13.38	4.63	6
	定 期 自 主 検 査	0.50	0.24	1
	小 計	28.91	19.29	9
9 月	照 射 利 用	15.82	15.11	3
	特 性 測 定	35.84	17.46	10
	学 生 実 験	9.79	4.07	3
	定 期 自 主 検 査	0.55	0.21	1
	小 計	62.00	36.85	17

平成元年度 研究所だより

10月	照 射 利 用	29.79	27.69	6
	特 性 測 定	33.41	27.76	9
	学 生 実 験	7.45	6.45	3
	小 計	70.65	61.90	18
11月	照 射 利 用	10.48	9.39	3
	特 性 測 定	39.83	33.80	9
	学 生 実 験	7.07	6.21	3
	高 校 教 員 研 修 会	6.09	1.70	3
	小 計	63.47	51.10	18
12月	照 射 利 用	25.88	24.56	5
	特 性 測 定	34.10	22.99	9
	学 生 実 験	6.76	6.09	3
	小 計	66.74	53.64	17
2年1月	照 射 利 用	8.83	8.13	3
	特 性 測 定	21.22	17.77	6
	定 期 自 主 検 査	3.26	1.74	2
	小 計	33.31	27.64	11
2月	照 射 利 用	2.86	2.40	2
	特 性 測 定	3.23	2.97	1
	定 期 自 主 検 査	2.73	1.29	1
	小 計	8.82	6.66	4
3月	照 射 利 用	6.25	6.03	1
	特 性 測 定	6.38	0.31	1
	定 期 検 査	4.37	2.19	2
	小 計	17.00	8.53	4
元年度 利用目的 別合計	照 射 利 用	132.67	122.13	29
	特 性 測 定	297.43	203.32	78
	学 生 実 験	66.69	41.71	24
	高 校 教 員 研 修 会	24.25	7.55	11
	定 期 自 主 検 査	9.36	4.21	6
	定 期 検 査	4.37	2.19	2
元年度	合 計	534.77	381.11	150

iv) 年度別原子炉利用状況

年 度	運 転 時 間 (hr)	累積運転時間 (hr)	熱 出 力 量 (Whr)	累積熱出力量 (Whr)
昭和36年度	31.958		1.1399	
37	343.022	374.980	27.5698	28.7097
38	584.290	959.270	54.8169	83.5266
39	925.854	1,885.124	79.5894	163.1160
40	367.214	2,252.338	25.0842	188.2002
41	286.475	2,538.813	19.2483	207.4485
42	320.072	2,858.885	26.8775	234.3260
43	212.454	3,071.338	12.9753	247.3013
44	204.900	3,276.239	10.8992	258.2005
45	220.327	3,496.566	15.8532	274.0537
46	311.318	3,807.884	22.7564	296.8101
47	261.204	4,069.088	21.2060	318.0161
48	201.033	4,270.121	13.8441	331.8602
49	175.367	4,445.488	127.8662	459.7264
50	846.065	5,291.553	729.7608	1,189.4872
51	968.888	6,260.441	858.8117	2,048.2989
52	920.999	7,181.440	804.1293	2,852.4282
53	775.268	7,956.708	666.0099	3,518.4381
54	985.669	8,942.377	873.5845	4,392.0226
55	1,071.402	10,013.779	939.5145	5,331.5371
56	1,057.149	11,070.928	906.2674	6,237.8045
57	764.972	11,835.900	571.2100	6,809.0145
58	703.232	12,539.132	507.2877	7,316.3022
59	886.238	13,425.370	720.0647	8,036.3669
60	735.382	14,160.752	558.5795	8,594.9464
61	588.461	14,749.213	425.6043	9,020.5507
62	644.670	15,393.883	474.7400	9,495.2907
63	552.455	15,946.388	397.2621	9,892.5528
平成元年度	534.77	16,481.108	381.11	10,273.6628

2. 平成元年度申請および報告一覧

平成元年 4月3日	核燃料物質使用変更届	近大原研発第1111号
4月10日	障害予防規定届	" 第1113号
4月26日	昭和63年度第4・四半期放射性廃棄物等管理報告書	" 第1114号
4月26日	昭和63年度放射性廃棄物等管理報告書	" 第1115号
4月26日	昭和63年度下期放射線管理報告書	" 第1116号
4月26日	昭和63年度第4・四半期放射線管理報告書	" 第1117号
6月10日	核燃料物質受払計画等報告書	" 第1118号
6月13日	核物質防護管理者の選任について(届出)	" 第1119号
6月13日	核物質防護管理者の選任について(届出)	" 第1120号
7月1日	核燃料物質在庫変動報告書	" 第1121号
7月1日	核燃料物質在庫変動等供給当事国別明細報告書(I)	" 第1122号
7月31日	平成元年度第1・四半期放射性廃棄物等管理報告書	" 第1123号
8月3日	核物質防護規定認可申請書	" 第1124号
8月3日	核物質防護規定認可申請書	" 第1125号
8月24日	核燃料物質在庫変動・リパッチング報告書	" 第1126号

平成元年度 研究所だより

8月24日	核燃料物質在庫変動等供給当事国別明細報告書（I）		近大原研発第1127号
11月1日	平成元年度上期放射線管理報告書		” 第1128号
11月1日	平成元年度第2・四半期放射性廃棄物等管理報告書		” 第1129号
11月1日	平成元年度上期線量当量管理報告書		” 第1130号
11月1日	平成元年度上期放射線管理報告書		” 第1131号
12月5日	核燃料物質受払計画等報告書		” 第1132号
12月12日	核燃料物質実在庫量明細報告書	(JE-G 0030)	” 第1133号
12月12日	核燃料物質収支報告書	(JE-G 0031)	” 第1134号
12月12日	核燃料物質実在庫量供給当事国別明細報告書（I）		
		(JE-G 0005)	” 第1135号
12月12日	核燃料物質実在庫量明細報告書	(JZ-H 0049)	” 第1136号
12月12日	核燃料物質実在庫量供給当事国別明細報告書（I）		
		(JZ-H 0004)	” 第1137号
12月12日	核燃料物質収支報告書	(JZ-H 0050)	” 第1138号
12月12日	核燃料物質収支報告書	(JZ-H 0051)	” 第1139号
平成2年1月16日	設備在庫報告書（JEGA）		” 第1140号
1月20日	運転計画		” 第1141号
1月20日	定期検査申請書		” 第1142号
2月6日	平成元年度第3・四半期放射性廃棄物等管理報告書		” 第1143号

3. 許認可

- ① 定期検査合格証
平成元年4月14日 放検発63合第292号
- ② 定期検査合格証
平成元年4月15日 元安（原規）第66号
- ③ 核燃料物質の使用に係る核物質防護規定の認可について
平成元年8月23日 元安（核規）第646号

4. 検査および査察等

- 平成元年6月16日 原子炉施設保安規定遵守状況調査
(調査官：科学技術庁原子力安全局原子炉規制課 米林敦男氏)
信濃正範氏)
- 平成元年12月8日 国際原子力機関（IAEA）査察
(査察官：国際原子力機関保障措置部 T. SUKSAWANG 氏)
科学技術庁原子力安全局保障措置課 滝沢 氏)
- 平成2年3月22～24日 原子炉定期検査
(検査官：科学技術庁原子力安全局原子炉施設検査室 小川明彦氏)
島根義幸氏)

5. 原子炉施設定期自主検査（保安規定第59条）

- 平成元年6月29日
7月24日
8月4日
9月22日
平成2年1月11日
1月12日

2月19日

6. 教育訓練等

- 平成元年 4月22日 防災訓練
- 4月26日 管理区域立入者に対する保安教育
トレーサ・加速器施設利用者（教員および学生）
- 4月27日 管理区域立入者に対する保安教育
原子炉施設利用者（教員および学生）
- 4月27日 健康診断・血液検査

近畿大学原子力研究所年報 Vol. 27 正誤表

Ann. Rept. Kinki Univ. Atomic
Energy Res. Inst.

Errata

頁 Page	行 Line	誤 Error	正 Right
3	37	loo	loo-
41	26	(10 ⁻⁴ Bq/cm)	(10 ⁻⁴ Bq/cm ²)
47	24	Kinki University	Kinki University <u>Reactor</u>
49	9	吸引線量	吸収線量